第三種郵便物認可　新聞定價一ヵ月60円　一部賣3円〔月曜休刊〕　磐城日日　昭和27年（1952年）7月10日（木曜日）　【第575号】

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31 355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

一印刷見習工募集一
中卒以上の者、希望者は履歴書持参の事
住込の便あり　委細面談
小名浜町渚廻
長瀬印刷KK

先ず質問は「港灣負担金」

小名浜 鹿島 合併懇談會

鹿島村議全員出席

小名浜町と鹿島村が合併して市制を施行し両町村民が一つの機構の下に、おの〱文化的に經濟的に人間のよりよき生存面を發揮して共存同榮の実を挙げようという小名浜町の鹿島村に對するプロポーズにより八日鹿島村村長八代義定氏はじめ鹿島村主脳部志賀議長以下全村議十六名が小名浜を訪れ、町当局の案内で一路發展途上にある小名浜の諸施設を見學した外、現在並びに將來の小名浜をつぶさに実地踏査によつて検討した上、午後四時から公民館で小名浜町当局と双方忌彈なく合併問題を巡る意見の開陳を行つた、以下はその懇談內容の全貌である

先ず島上喜一氏座長席につき長瀬助役町當局を代表して、發展途上にある小名浜町の沿革と現在の町政が如何に教育、社会福祉、産業開發等に全力を挙げ、なおかつ健全財政を堅持しているかの点を数字的資料と共に總括説明があつたのち、鹿島側質問のトップは長瀬一郎議員により港灣問題に先づ口火を切つた

長瀬議員　港灣設備五ヶ年計畫等について具体的內容を説明して欲しい

長瀬助役　沖防三百米の延長のほか現在三千屯の岸壁を增築して六千屯岸壁となし商港、漁港　避難港等えの多角的使命を負びた大小名濱港の諸設備完成は二十ヶ年で實を結ぶだろう

さらにこれを補足して

立花議員　昭和四年から重要港として更に昨年から全國四十八の重要港に指定され、小名浜が持つ港灣的價値は今更贅言を要しない、されば縣当局でも唯一の商港として或いは屈指の漁港として、諸施設完備に縣直營工事を以つて拍車をかけんとする趨勢にある

長瀬一郎氏なお港灣施設費の地元負担額等に對する質問の徵がほの見えたところ

西丸議員　鹿島の諸氏の關心の焦点は等しく港灣施設に伴う負担金にあるように思われる、私は港灣を利用する立場から港況の一端を述べると、逐次年を追つて利用度は増大し三万屯から五萬屯、十萬屯と飛躍的上昇線を示している　大竹知事も小名浜港の重要性については夙に是を認め、縣の代表的漁港として或いは東北の商港として出來る丈の蠢力をなしたび〱中央にも諸施設完備の促進方を申請しているもので、小名濱の前途にはいさゝかの不安もない

長瀬議員　鹿島村は港灣費負担に必ずしも心配しているわけではなくまた町の負擔、利益者の負担等もさう困難なものと思つているわけではない　（續く）

石城総合協議會

工場誘致と建設めぐる

只見川電源開發と歩調を合せて縣工業面の振興が併進するよう縣の基本方針が確立し各方部に工場誘致問題が擡頭している時浜通り方部では九日午後一時から平市役所会議室において箱崎地方事務所長、諸橋平市長、金子平市会議長はじめ佐藤平鉄工業会長、常磐炭礦、古河鑛業、磐城セメント岡本ゴム、片倉製絲等の各代表者、平、湯本、內郷、小名浜の各商工会議所会頭管内各町村長等多数が出席して石城地方における工場適格地の選定検討　工場誘致に関する具体的資料の提供等工場誘致と建設を繞る綜合協議会を開き積極的に工業圏の確立に乗り出すこととなつた、なお同日は企業振興現地調査は來縣中の安本國土開発審議会主幹佐野六郎氏地域經濟研究所長伊藤武雄氏らが臨席し企業振興策、工業開発策等について貴重な資料を提供した

伊賀氏の人々　①

—光季討死のこと—

高萩精玄

序

平市飯野八幡宮の宮司飯野氏は、その以前伊賀氏を稱していたことは、前稿「南北朝岩城史」において少しく觸れたところである。

本稿「伊賀氏の人々」は研究というべきものではないが、これまた伊賀氏解明の一環としてまとめておくものである。引用参考書も

大日本史
鎌倉北條九代記
承久記
增鏡
吾妻鏡

等によつたもので僅かに所々を覗いたにすぎず、その詳細なる検討は次の機會に讓らざるを得ないことを殘念に思う。

伊賀氏の系圖は、本篇の主人公、伊賀光季の弟光宗から出ている。光宗のことは、續稿—光宗謀反のこと—によつて知られたい。現在の飯野盛男氏はその二十三代にあたつていられる。

伊賀太郎左衛門尉光季が京都の守護に据えられたのは、順德天皇の御代建保七年三月—との年四月改元して承久という—のことでありました。

とれは、その年の正月二十七日、時の征夷大將軍兼ねて正二位右大臣源實朝が鶴ヶ岡八幡宮の社頭に於いて別当公曉—兄頼家の子—のために刺されたので、京洛の天地が何んとなく物騒しき由の風聞があつたからであります。事實、加藤次判官次郎が裸馬の背に跨つて晝夜の境もなく責めたて〱して、二月二日申の刻—午後四時—ばかりに都に馳せ着いて後鳥羽上皇にとの椿事を奏上した時は、貴賤上下の區別もなく一途に喧騒を極め、數多の軍勢も右往左往して、とれを制止するのも容易なことではありませんでした。中でも衆目を引いたのは、京都守護藤原季時が實朝將軍に殉じて薙髮出家してしまつたことであります。伊賀判官光季はこの後を襲つたのでありました。

次いで實朝にはたゞ一人の子供もなかつたので、その後繼者として光明峯寺の左大臣道家卿の子息頼經—當年二才—幼名三虎御前—が擁立されました。これは二位禪尼即ち源頼朝の室で、当時世に尼將軍と稱せられていた北條政子の取り計いであつたのです。この頼經が京都を出發する七月九日までは、光季も着任早々のことでもあり、誠に慌しいものがあつたとゝ思われます。はつとする間もあらばこそ、大內の守護右馬權頭源頼茂朝臣が後鳥羽上皇の逆鱗にふれて　仁壽堂に入り　一日一夜の攻め戰のために潰滅したのは七月十三日のことであり　光季が飛脚を以つてこの邊の事情を鎌倉に告げ知らせたのは七月二十五日のことでありました英明の主後鳥羽上皇を中心として　都には絶えず一抹の妖雲が漂つています。

※　※

承久三年四月の頃からいや遙かそれ以前から、後鳥羽上皇は、鎌倉幕府を討伐しようとの念願をお持ちになつていられました。

との上皇が、鳥羽の城南寺の流鏑馬揃えに事よせて　近國の武士を御召しなされた所、五畿內—山城、大和、河內、攝津、和泉—は申すに及ばず、丹波、丹後、紀伊、但馬、伊賀、伊勢、美濃、尾張、近江等十四ヶ國のつわものどもは、われも〱と馳せ集りました。內藏權頭淸範が著到—出陣の際に、集つて來る軍勢の名を張面に書きとめることーをしましたが、その記錄によると、宗徒—主要な人々—の兵一千七百餘騎とあります。

※

平で觀光連絡協議會

浜通方部の久の浜、四倉、草野、豊間、小名浜、湯本、植田、川前の各觀光協会では來る十四日午後一時から平市役所会議室で觀光連絡協議会を開催するが管內八觀光協会の會合を機に石城觀光連盟の結成が行われる機運が濃厚となつている

議會運營研究會

湯本公民館に開催

石城郡町村議会議長、副議長会、書記議会運營研究會は來る十五日午前九時より湯本町公民館に於いて開催、次の議案について審議する

①地方自治の確立問題について
②地方自治法並に地方財政諸法の改正について
③議会運營について

湯本青年學級の委員會

湯本町公民館では明十一日午後六時半より同町公民館会議室に於て青年学級につき委員会を開催次の事項を審議する

①青年学級運營研究協議會（幹事選出について）
②学級レクリエーションについて（小名濱海上保安実地踏査）

勿來で森林組合結成

勿來町森林組合創立總会はとの程勿來中學校に於いて開催規約の審議、役員の選任を行つた結果次の通り決定した

組合長…青天目信次郎
理事…横山太一、安島直人、渡邊禮五郎、根本泰三、秋元一郎、平山鶴、蛭田卯之助、大平三郎　赤津一、小松實、青天目信次郎、園部藤三郎
監事…甲高誠兵衛、赤津敬二郎、根本權一郎

天氣豫報　10

【本日】東寄りの風で晴れたり曇つたりの天氣で處によつては小雨
【海上】東寄りの風で沖合では風波がありましよう

魚菜市況　9

【小名浜中央青果市場】梅六八〜八六さつま九〇玉葱三五〜三八胡瓜六九〜八五刀豆三〇〜一八五人參五〇〜六〇らつきよ一〇〇〜一〇五茄子一三五〜一四一とまと六〇〜一六五馬鈴薯一八〜三〇玉菜三〇ちそ二〇〜三〇葱五六〜六〇たくあん八〇大根二〇〜四五南瓜三〇〜六一卵一〇〜一〇三〇

【小名浜魚市場】平目九〇〇小あじ四一小平目五六〇かつを二七〇

◀◀◀祭典資金造成特別大興行▶▶▶
東西浪曲大會
◎七月十三日…一日限り
午後五時開演（花火打上）
會場…錦座
▼廣澤虎造▲
▼天中軒雲月▲
▼天津羽衣▲
▼梅中軒鶯童▲
…口演…
浪曲界のこの巨匠
他四名堂々五時間!!
二度と聴かれぬ
責任　鈴木興行社
提供　丸唐興行株式會社
◎前賣券一五〇円
◎木戸二〇〇円
主催一錦町青年会中田分團
後援一錦町有志一同
（当日の御來館をお待ちしております）

移轉お知らせ
今般事務所左記に移轉致しました
平市仲町十五　市公會堂二階
平商工會議所
（電三一九）

愉快な地曳網
（漁師四名　漁網で半日の出漁）
捕魚の料理とおみやげ!!
網船捕魚料理三品付
一五人以上二〇〇圓
青年團、消防組、各組合、商店慰安に
各炭礦、工場従業員の慰安
お申込は二日前　電話は
植田驛前若松屋旅館（五三番）へ
石城郡植田海岸
鮫川誇揚會
代表　鈴木林

経費をかけずに良い品安く
専門店会チケット御利用下さい
御子様へ御菓子
動物ヨーチエン百匁60円
カルケツト　百匁70圓
學生さんへ
上質ノート　12枚　5円
上質大学ノート15圓より
野球帽55円より110円
御孃さん奥様へ
夏は木綿高級新柄服地入荷
白生地ヤール60円　各種
化粧品柳屋メヌマ ジユジユパピリオ　80圓
花王洗濯石鹸徳用型10円
御勤の皆様へ
開衿190円より800円
男底サンダル460円より
皮女雨靴650圓より各種
白アメ底300圓330圓
小名浜第二小學校前
皆様の店　平マーケット
電話297番

予算三十五万八千圓
港都小名濱の港祭り
三日に亘る行事決定

小名濱港まつりの幹事会は九日午前十一時より全町公民館において開催、役場より長瀬助役、小泉企画課長、作山係員、觀光協会佐藤、門馬の正副会長、商工会飯塚勝、脱衣場組合小野一、海上保安部佐藤事務官、小名濱海運支局門馬事務官、濱邊臨港鐵道代表、野球關係宮下茂、庭球宮島明光劍道中野弘道、八坂神社關係本田豊の諸氏參集して一般寄附募集について募集區域を四区に分割、町会總務委員と協力して募集に當ることになりその人選を行つた

次いで港まつりの行事計画及び予算を審議した結果總經費三十五万八千円を可決し行事を次の通り決定した

◆第一日…二十日

表彰式（海運局）午前十一時半、慰靈祭（魚市場）十時半、野球大会（一中校庭）九時、近縣庭球大會（一中コート）九時挑競技大會（一小講堂）九時

九時、美術鑑賞会（公民館）九時、八坂神社祭典店頭裝飾競技大會（市内各商店）電氣照明コンクール（市内各商店）

◆第二日…二十一日

野球大会（一中校庭）九時、縣下高校庭球大會（一中コート）九時、小舟競爭（市場前）九時、水泳大会（市場前）九時、美術鑑賞會（公民館）九時

店頭裝飾競技会（市内各商店）夕刻、電氣照明コンクール（市内各商店）夕刻 花火大会（海岸）午後一時

◆第三日…二十二日

野球大會（一中校庭）九時、近縣弓道大會（自性院弓場）九時、美術鑑賞会（公民館）九時、店頭裝飾、電氣照明コンクール（市内各商店）夕刻

防犯協力會結成
準備會で役員選任

小名浜町では犯罪のない社会を理想として町民の防犯思想を昂揚するとともに、各種團体及び各部落と連絡を緊密にし防犯處置の完璧を圖る目的をもつて小名浜町防犯協力会を結成することになり九日午前十一時より全町公民館日本間に町側より長瀬助役、遠藤庶務課長本多係員出席、鈴木警察署長、管野防犯主任、馬上町会副議長、和田民生委員協議会長、永山前公安委員、遠山海上保安部長、仝永井警救課長、高木（長年）小學校代表、山口中学校代表、高木（一良）高校代表、大田武彦區長会々長、栗田消防署代表、山中日本水素工場代表、後藤運輸省工事事務所代表らを招じて結成準備会を開いた

長瀬助役、鈴木署長の挨拶後規約の審議を行い次の事項を決定した

①公共の秩序の維持に協力する
②生命財產の保護及び犯罪の予防
③遵法精神の涵養及び防犯思想の普及徹底
④盗難その他防犯施設の研究及び改善
⑤青少年の善導
⑥犯罪の捜査及び被疑者の逮捕に對しての協力
⑦その他本会の目的達成に必要なる事項

次いで役員の選任を行い次のように決定及び内定した

會長…水野政次郎（町長）
副会長…長瀬彰義（町會議長）
仝…志賀要平（治安維持協議会長）
顧問…小野縣議、警察署長、保安部長、消防署長漁業組合長、前公安委員民生委員協議会長、在町各学校長、商工会長、農協組合長、日本水素社長臨港鐵道社長、評議員、支部長（省略）

湯本町防犯協力會
本年度事業を內定

湯本町では町内に於ける各種犯罪發生の增加に鑑み、これが未然に防止するため去る三日午前十時より各層代表十數名湯本地區署に參集して防犯協力会を結成、二十七年度に於ける事業計畫を次の通り内定した

①湯本町防犯協會役員之章（標札）作成配布
②防犯對策研究懇談會（七月、十月、一月）
③中学生防犯辯論大会（九月）
③少年防犯運動會（ソフトボール）十月
⑤少年街頭補導（舊盆）
⑥防犯講演並に討論会（十月）
⑦防犯標語ポスター募集（八月）
⑧防犯懇談会（隨時）

指導者養成講習會（湯本）

石炭業聯盟主催による指導者養成講習会は去る八日より十六日まで湯本町公民館会議室に於いて行われている

小名一小の納涼音樂會

小名浜町第一小學校では來る二十六日午後六時半より全校講堂に於いて納涼音樂會を開催する

なお当日は昨年全校に於いて購入したピアノの披露音樂會に出演された齊田愛子さんが特別後援に出演することになっている

平事件の實地檢証

平地裁検察陣では九日午前一時から平事件の本據平市署に實地檢證を行い平事件公判もいよ〱問題の核心に突入する段階にまでこぎつけた

日平變電所の電線泥

磐崎村大字白鳥字界堂四四土工石川守夫（二〇）は去る六月中旬ころ同村藤原日平變電所内から電線七十米（二千八百圓相當）を盗んだことが判り八日湯本地區署に逮捕さ

救濟手當を陳情
植田自由勞組員ら

山田村自由勞組々合長田村幸太郎氏ら四十名は去る八日植田町役場に渡邊町長を訪ね救濟事業にアプレ日が續き生活出來ないからと救濟手当の支給方を陳情した

これに對し町長は町財政の現況を說き、救濟事業によりアプレをなくしたいと近く着工する植田町近郊の諸事業の内容を説明して引取らせたが、全勞組員の陳情は六月以降三回に及んでおり、一部組合員には不純な考えをもつものもあるが大体はその日の生活に窮しているもので、町營の事業等には優先的に自由勞組員を使つてやるべきだとの聲も高い

モグリ周旋
送檢さる

川部村大字三澤字後田三六無職松田スエ子（二九）は去る五月十二日同村三澤後田簗田美智子さん（一四）を甘言で東京都台東区三橋町一五飯食店林千代さん方に從事婦として周旋、更に五月十四日頃川部村小川字梅田四布川良夫君（一六）も同様手段で東京都内に連れて行き就職口を探しているところを發見され植田地區署に檢擧、八日書類送檢となつた

農村生活の感想 ①

錦町　蛭田仙吉

今では農村生活も五十年ほどになるので、農村の生活について色々と考えて見るようになつた、農村の生活は封建的であり昔のまゝであることは誰でも知つている 実際にふれて見るとあまりにも非能率的で 現代的科学という考はほとんどとり入れていない 電氣の農機具を使つて庭の前でモーターをうならせるだけが農機械化ではない、生活様式についてもつと深く根本的に考えて改良しなければならない点が多い、とのまゝでは今後の國際經濟に動かされる日本の農村は立ちゆかないであろうと思われる、しかし生活の改善とか作業の能率化などと云うことは一朝一夕にできるものではないので、ちよつとした思いつきなどをいつてもどうにもなるものでない、長い因襲と歴史をもつ農村生活全体を改めるのはやはり相當長い年月と費用と努力が必要と思う

朝には霜をふんで出、夕べには星をいたゞいて歸るとか 悠々たる青空を仰いで白露をふんで大地に親しむとかいうと、いかにも田園趣味豊たかにきこえるが、実際はあのはげしい土まみれの勞働であり、經濟的にもめぐまれない生活であつてみれば農業もいやになる筈である。農村の青年男女が都會にあこがれると言うのも結局は農村の生活があまりにもみじめであり、青年たちは、もつと人間的、文化的生活を求めたいからである。

このことを衣食住のほうからみればあの不必要に大きな農家の造りは間取りや採光の点から生活に不合理であるばかりでなく、いまでは固定資產税の對象となるばかりである。

もつともひどいのは便所だ、農家の便所は都会とちがつて肥料の貯藏溜として生產に大きな役割をもつているのだが、原始的で非科學的で極めて不衛生である。農家の便所を改良する問題は以前からさけばれていることであり、いまではだいぶ改造されて昔のようなことはなくなつたとはいえ、昔からの慣習と費用の点からまだまだ不完全なものが多い、ちよつとでも都会へ行つてデパートの水洗便所でもみたことのある農村の若い女性達は自分のうちの便所をみただけで村をとびだしたくなるだろう。

台所の問題でもそうだ、これは住に關することであるが私の居住する町の農家のあの大きい炉はたしかに農家らしい趣があり、また寒い地方の生活にとつて合理的なのだろうが粗朶や薪火で家中をまつ黑にくすぶらしているあの生活は文化的とはいえないだろう、台所やかまどの改造問題も農村の大きな悩みである。

衣については、いま農村の若い女性のもつとも關心をひく問題である、どの講習会でも熱心にあつまるのは、料理、編物洋裁であるということがそれを如何にも物語つている、便所の改善、洋裁の流行、それらはすべて農村文化のあらわれであり人としてよりよく生きようとする慾望のあらわれでもある

◆

良品廉價皆樣の利益を讓る店

湯本の大黑屋が開店一周年を迎えたので小名浜大黑屋も共に感謝の氣持て原價奉仕品を湯本小名濱.平大黑屋同時に店頭店内に發表申します 期日は7月11日ヨリ15日迄5日間開催申します（只今中元用に大黑屋の商品券が好評です）原價奉仕品は5,000点を發賣【全店】致します御來店を御待ち申します（今回の原價奉仕品は荷具運賃が加算濟です）

大量仕入と大量販賣による賣價引下げに前進する大黑屋連鎖店

業務員若干名募集

希望者本社來談
年令、學歷不問 履歴書持參

小名浜町渚廻五一
磐城日日新聞社
電話三八七番

每月十五日体溫計無料檢査致します

關內藥局
平市四町目電話四〇番

自轉車、リヤカーの御買上並修繕は專門店会のチケットを御利用下さい

輕くて強い特許防水式
ノザワ ダグラスの自轉車販賣部

專門店會加盟店
吉田屋商會
小名浜町定西
電話八九番

此のキモノは幾つの人が着ますか？

アメリカの明るい影響でキモノは大膽なまで派手になり柄と年令の標準は殆んど分らなくなりましただが平地方は一体どれだけ派手になつたか？ この答を出す爲に藤越ではゆかた一反とプリント服地を店頭に飾りこれを着る人の年令を皆樣に投票して戴いて最高票の年令を當選とすることに致しました

懸賞

應募規程

●投票用紙又は官製はがきにゆかた何歳プリント何歳と書いて下さい
●投票用紙は店内各賣場で無料進呈、店頭の投票箱に入れて下さい
●當選者から十名樣を選びゆかた又はプリント服地一着進呈
●〆切七月廿日 發表七月廿五日

藤越
小名浜
平 市